

福井のめがね

せいさんりょう にほんいち めがね さんぎょう
生産量日本一をほこる「眼鏡」産業のはじまり

白川文字学 ニュース

No. 18

発行2019年6月
福井県教育委員会
生涯学習・文化財課

明治三十八年六月一日、増永五左衛門さんが大阪から招いた職人さんとともにめがね作りを始めました。これが福井のめがね産業の始まりだと言われています。

目の健康を守る3か条

- 1 姿勢をよくしよう
- 2 時々、目を休めよう
- 3 規則正しい生活をしよう

眼

5 学年配当漢字

まなこ
ガン
ゲン



のろいの目

のろいの目をさけるため
後ろを向いて逃げる人

眼

【篆文】



音を表すのは「艮」。「艮」はまじないの目からにげる人の形(先月号「根」でも取り上げました)。眼はその呪いの「め」をいう。

鏡

4 学年配当漢字

キョウ
かがみ



青銅で作られた鏡

「音」
はり
と
さい

鏡

【篆文】



「金」銅をどろどろに溶かして、型に流しこんだ形



音を表すのは「竟」。「かがみ」をいう。古くは水面に姿を写して水鏡を作っていたが、のちに青銅などの金属で作られた。

とくに小学校の時期は、規則的な生活と活発に体を動かすことの積み重ねが、視力の発達に大切だと言われています。

目の健康を守る3か条を守り、心がけ、目を大切にしよう。おしゃやかな福井のめがねをかけるのは、大人になってもおそくないかもしれませんね。



【参考資料】

- ・常用字解
- ・白川静博士に学ぶ

漢字の世界へ